

「Thank you, it works!」と述べたのは、製作者のひとり、ピーター・スピーク・マリン氏。モノブッシュクロノグラフ、ダブルレトログラード式カレンダー、GMT、トゥールビヨンに加え、上下のローリングバーでそれぞれ月齢と曜日表示する「チャプター・ワン」は、確かに駆動していた。

「プロジェクトは3年前に開始しました。設計図は100枚も描いたでしょう。昨年7月にプロトタイプ製作が始まり、3週間前に完成しました」(スピーク・マリン氏)。才能ある時計師が集ったことに加え、3年間という十分な準備期間が「動いた」理由だろうか。CEOのステイブン・M・ホルツマン氏によると現在、「チャプター4」まで計画中だという。(広田雅将)



チャプター・ワン
予価40万スイスフラン

「時の支配者」を象徴する「かつてない時計」(スピーク・マリン氏)、上下のローリングバーで月齢と曜日表示。硬化加工を施した薄いアルミ製のチューブを使うことでトルクの減少を抑えたという。複雑な造形のケースは104個の部品で構成される。手巻き(Cal. SHC02)、58石、2万1600振動/時、パワーリザーブ約60時間。18KRG(縦62.60×横45.90mm)、限定33本。

MAÎTRES du TEMPS

メートル・デュ・タン

“時の支配者”を目指す 独立時計師のコラボレーション

また新しいブランドが加わった。独立時計師によるユニット「メートル・デュ・タン」(“時の支配者”の意)である。ピーター・スピーク・マリン、ロジェ・デュブイ、そしてクリストフ・クラールというメンバーに注目が集まるが、それ以上に驚くべきことがある。彼らの合作したコンプリケーションが「動いた!」(マリン氏)のだ。



手前は、メートル・デュ・タンのCEO、ステイブン・M・ホルツマン氏。ふたつのローラーは氏のアイデアによる。奥の左は、ロジェ・デュブイ氏。クリストフ・クラール氏とピーター・スピーク・マリン氏にアドバイスをを行ったという。奥の右は、調整役として活躍したスピーク・マリン氏。

Information contact www.maitresdutemps.com

URWERK

ウルヴェルク

ふたつのタービンがローターを 制御する世界初の自動巻き機構

代理店は未定ながらも、日本でも熱狂的なファンを擁するウルヴェルク。「メカニカル・インタレストなプロダクトを作りたい」(フェリックス・バウムガルトナー氏)という点が愛好家の琴線に触れる所以か。今年は自動巻きのローターとしてふたつのタービンを備えた「UR-202」を発表。その独創性は今年も群を抜く。



UR-202
予価15万スイスフラン

「UR-201」にマイクロローター式の自動巻きを加えた新作。左右にムーンフェイスとAM/PM表示を備える。文字盤には航空機が使用する超軽量素材ARCAPを採用。回転式の時針に加えて取崩式の分針を持つ。一見、トルクを要しそうだが、主ゼンマイのトルクは通常の自動巻きと同程度の500g・m程度に収まる。2万1600振動/時。18KWG(縦45.6×横43.5mm、厚さ15mm)、日常生活防水。



UR-103.08 TiAN
価格未定

切削工具用のコーティング、チタンアルミニウムニトリド(TiAN)を施した新作。コーティングはヴィッカーズ硬度3500Hv、デザインモチーフは「表は「スターウォーズ」のC3PO。裏は「たまごっち」(デザイナーのマーティン・フレイ氏)。手巻き(Cal. 3.03)、2万1600振動/時、パワーリザーブ約43時間。SS+TiANコーティング(縦50×横36mm、厚さ13.5mm)、日常生活防水。

新作「UR-202」のケースバックにはシャッターがある。バウムガルトナー氏はこう説明した。

「シャッターを閉めると、ムーブメントに流入する空気が遮断されてタービンのフリクションが増加する。その結果、巻き上げ効率は35%ほど落ちる。逆にシャッターを開けると空気が流入してローターへのフリクションが低減し、巻き上げ効率が向上する」

自動巻き機構に搭載されたこのシステムの意味は未知数だが、シチュエーションによって巻き上げ効率を3段階に変えられる自動巻きは世界初だろう。独創的な時計で高い評価を得るウルヴェルク。現在、年産220本と小規模だが、日本に代理店が現れることを切に望みたい。(広田雅将)

Information contact www.urwerk.com